

本太中だより

第1号

さいたま市立本太中学校

048(886)4305

<http://motobuto-j.saitama-city.ed.jp>

E-mail motobuto-j@saitama-city.ed.jp

令和7年4月8日

未来へ、よりよく生きる

一人ひとりの Well-being を実現する学校を目指して

校長 田中 一秀

やわらかな春風を頬に感じ、心華やぐ頃となりました。令和7年度が始まります。この1年、本校に関わるすべての人たちが築き上げてこられた伝統を大切にしながら、本校教育のさらなる発展に向け、精一杯取り組んでまいります。

皆様にご迷惑をおかけしております校舎リフレッシュ工事ですが、昨年度の南校舎に続き、今年度は北校舎が工事となります。そのため、普通教室、生徒のホームルームが仮設校舎となります。今後も当分の間、制限された環境となりますが、安全確保を第一に教育活動を展開いたしますので、何卒よろしく願いいたします。

さて、本校の学校教育目標「未来へ、よりよく生きる」のもと、今年度、目指す学校像を「一人ひとりの Well-being を実現する学校」といたしました。「Well-being (ウェルビーイング)」とは、身体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態を表す概念であり、平均寿命や生涯賃金などの客観的な数値を基準に把握できる「客観的 Well-being」と、自分の人生に関する満足度や、うれしい、楽しいといった感情による「主観的 Well-being」があります。人口が減少し、経済や社会制度が発展した成熟社会では、物質的な豊かさよりも心の豊かさにあふれた社会が理想とされており、「主観的 Well-being」を重要視する動きがあります。「Well-being」は、すべての人にとって同じ状態をいうのではなく、一人ひとり異なり、様々な要素から成り立つものです。すべての生徒の「Well-being」を目指した教育を展開するとともに、生徒には、自分の得意なこと、大切なこと、大事なことは、誰に何を言われても手放さない、他者の得意なこと、大切なこと、好きなことは、何があっても奪ってはいけないことを伝え続けていきたいと思っております。

保護者の皆様、地域の皆様、そして私たち教職員の願いは、目の前にいる子どもたちの現在はもちろんのこと、10年後、20年後、30年後・・・も、幸せであってほしいということです。そのためには、役割や方法は異なりますが、学校と家庭、地域が、お互いにこの共通の願いに向かって子どもたちに関わっていくことが必要です。保護者、地域の皆様には、本太中の「最大の応援団」として、また、「本音で語り合える辛口の友人」として、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びになりますが、裏面のように教職員の異動がございました。異動した教職員に対しまして、これまでのご支援に厚くお礼申し上げますとともに、新たに転入した教職員に対しましても、ご支援を賜りますようお願いいたします。